

令和3年度 第2回京丹後市図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年3月25日（金） 午後3時～午後5時
- 2 開催場所 京丹後市役所大宮庁舎 1階 保健センター
- 3 出席者 村上弘樹委員（会長）、松岡豊美委員（副会長）増田明子委員、
寺田裕美子委員、東恵美子委員、下岡道代委員、味田佳子委員、
東哲委員、伊藤慎二委員、日野竹夫委員

（事務局）松本教育委員会教育長、引野教育委員会教育次長、川村生涯学習課課長、
坪倉生涯学習課課長補佐、亀田図書館長、田辺主任

（欠席）なし

4 議 題

協議・報告事項

- （1）休館日、開館時間について
- （2）子どもの読書活動について
- （3）先進地視察研修について
- （4）新規事業の状況について
- （5）その他

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0人

《 議事経緯 》

● 開 会

事務局 定刻になりましたので、ただいまから第2回京丹後市図書館協議会を開催いたします。開会にあたりまして、村上会長からご挨拶をいただきます。

● 挨拶

会長 第2回ということで、この間結構な時間が経過してきているわけですが、ご承知の通り、コロナ禍の中で社会的な生活が制約される、そういう中でこの案内をいただいて、1回目からだいぶ経ったのだなど、私自身思いました。でもそうする中でも昨日は小学校の方は終了式ということで、私も勤務していた頃はだいぶ意識はしていたのですけれども、今日終了式ということはその前の日は卒業式だったのか、というようなそんな感じでありました。市の方ではこの間には成人式が行われ、本当に社会活動の方はきちきちと、節目節目の部分が進んできているということを感じています。今日は2回目です。今年度はこれで終わりですが、来年度に繋がるような形で、またいろんなご提案なり資料の提供も準備していただいておりますので、委員の皆様方にもそれぞれの視点からいろいろな意見をまたお世話になりながら、よりこの協議会としての方向性や意見を高めていただけたら大変ありがたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。
続きまして、松本教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 はい皆さんこんにちは。今、会長さんからもありましたが早いものでもう年度末ということで、昨日小中学校の修了式ということでしたけれども、1回目の協議会を夏の終わり頃にさせていただきまして、その時は蔓延防止からその後すぐに緊急事態にというような大変厳しい時期だったという風に思いますが、学校現場の方はまだ2学期は比較的落ち着いた中で教育活動もできましたし、図書館との関わり、読書活動もある程度できたのではないかとこの風に思っております。ただそんな中にありまして、まだコロナ禍の状況ということで本当に社会教育、社会スポーツ共に1月終わりから小中学生については自粛をお願いするようなことになりまして、大変子どもたちは制限の多い中の一年間ではなかったかという風に思っています。そういう意味において、皆さんも前回のところでもご心配いただいたように、子どもたちの学びはどうなっているだろうかとか、読書の習慣はどうなっているだろうかというご不安も本当におありではないかという風に思いますが、今日はまた本年度でわかっているところについて皆さんにお伝えもできるかと思っておりますし、その落ち着いた時期に実施しました視察ということで後で報告があらうかと思っておりますけれども、明石の方や養父市の方の図書館を見せてもらいに行ったこともありますので、そうした中にもヒントが隠されている

かなという風に思ってますので、また忌憚のないご意見を頂けたらと思います。また最後には来年度の事業ということで、来週の議会において議決いただけたらという限定ではありますけれども、概ね理解していただいてということで、新しく進めるようなことについてもご紹介をさせて頂けたらという風に思ってますので、短い時間ですけどどうぞよろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。
 議事に移る前に、資料の確認をさせていただきます。

【 事務局による資料確認 】

事務局 そうしましたら、議事の方に入っていきたいと思います。この後の議事につきましては、京丹後市図書館条例施行規則に基づきまして村上会長にお願いしたいと思ひます。
 それでは、会長よろしくお願ひいたします。

● 報告・協議事項

会 長 失礼して、進行させていただきます。
 では協議・報告事項（1）休館日、開館時間についてということで、事務局の方にお願ひします

【（1）休館日、開館時間について 資料1の説明】

会 長 はい、今説明をしていただきました、図書館の休館日また開館の時間についてということ説明を頂きましたが、委員の皆様方で ご意見とかご質問とかございましたら、どなたからでも結構ですのでお願ひしたいと思ひますがいかがでしょうか。

会 長 私から聞かせて頂いて、開館時間とそれから休館日についてと二つの点があるわけですけども、まず休館日から考えてみたらどうかと思ひます。休館日は今月曜日一斉であるということをやっぱり変えていてもいいのではないかと、以前からの委員の皆さん方のご意見でも上がっていたわけですね。それがどれぐらいの状況にあるのか、私は全然把握してないので、委員の皆さんで感じておられることとか出していただいたら、曜日の設定で月曜日になっているのは、土日は来館者が増えるだろうというあたりですかね。利用者の関係ですとか、休みが大体決まっておられ月曜日だとか水曜日だとか、木曜日や火曜日のところも結

構業者さんの方でもあるように思うんですけど、その辺りで委員皆さんいかがですか、最初休館日についてのご意見と言いますかご質問でも結構ですし出していただいて、進めさせてもらえたらと思うんですが。

委員　私は孫がまだ小さいのがおりまして、水曜日は学校から早く帰ってくるんです。だからそういう日は宿題をする時間も余裕があるということで、2週間に1回ずつ曜日を決めて図書館に行っているような状況もありまして、他の学校はどうでしょうか、短縮授業というんですかね。そういうこととの関係もおそらくあるのではないだろうか。例えば水曜日が休館になってしまった場合には、いつも行けていた曜日が休館となってしまう、なかなか行けないというようなことにもなる。その辺も考慮してもらえたらありがたいという風に感じます。

会長　委員、その辺について学校はどうでしょうか。

委員　そうですね、例えば月曜日から休館日を変更するというようなことになった場合どんなことがあるかなって考えたんですけど、図書館の方から学校に読み聞かせに来ていただいたりすることがあるんですけども、そういった時に例えば火曜日が休館日になったら火曜日に読み聞かせに来ていただくことはできなくなるとか、そういう制約は少し現場に出てくるのかなあと考えたんです。子どもたちが帰ってからの図書館の利用状況は具体的に把握できていませんので、現場に影響があるとしたらそんな感じですね。

会長　水曜日はだいたいそういう時間ですか。

委員　そうですね、水曜日の下校時刻は大体2時半ぐらいに小学校だとなることが多いかなと思います。

委員　事務局側のことはよくわからないんですけど、いつも開いているという風にならないでしょうかね。職員の経費の問題もあるでしょうが、ちょっとずらすというようにしたらどうかと思ったりするんですけど。毎日利用できる、今回ここは休みだけど今週はこの日休み、だけど来週はやっている。今週はやっているけど来週はやってないという風にちょっとずらす。今はどこでも1枚のカードで借りることができるので、そういう風にならないかなと思ったりもするんです。本館も分館もみんな同じ曜日に休むという風になってくると、やっぱり行けない、今日は自分は休みなのに図書館に行けないという風なことができてくるので、例えば月曜日と水曜日とか休館日をずらすと、ここは休みだけど、あっちへ行けば開いているというようにならないかと思ったりするんですが、どうでしょうか。

会 長 ありがとうございます。他の委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 図書館の運営の仕方、それができるものかどうか。例えば本の整理とか一斉にされるんですね。そういうこともしながら、そういった運営ができるのかどうか、それが気になります。確かに要望はあります、色々と。図書館の人たちがそれをうまくこなせて、図書の整理もできてということが出来るかどうか、そこが一番元になると思うんです。できるのであればそれは可能になると思います。

会 長 ありがとうございます。ほか、委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 開館時間とか休館日については、本当にもうそれぞれの意見があって、あみの図書館をオープンして2年目に、みんなの声をやっぱり聞いて活かしていかなければと思いアンケートをとったことあるんです。集計しまして意見をまとめたんですけども、本当に様々な意見があって、それぞれの仕事の都合とか個人的にそれぞれ事情がある中でいろいろな意見があって、本当にいつでも開いていて欲しいと思うし、それから時間も長いこと開いていたらいいと思うんですけども、それを言ってしまったらお終いかもわからないんですが、運営の中で正職員が二人しかいないのです、でもやっぱり週に2日は休むということがあると、正職員がいない日ができてくるんです。ということは今自分が思ってもとても不安に思います。特に土日の休みだと市民局とかの職員もあまりないということも考えるととても難しいかな、何かあった時にということを考えてしまいました。水曜日午後7時までが峰山、あみのということもその中で苦肉の策で、それから夏季休業も要望に沿って早くから9時から6時までで開館したんですけど、課長がおっしゃるように予算的なものが影響してくるんです。それを言ってしまっただけでは本当になかなかできないんですけど、やっぱり改めてその利用者の方はどんなふうに今思っておられるのか、利用状況というのは図書館の方で調べられると思うんですけども、利用者の方はどんな風な気持ちで今おられるのか、私が調べてからもう20年ぐらい経ってしまいましたので、1度そんな風なデータも見せてもらいながらやっぱり良い方向に考えていかないとなあと改めて思いました。

会 長 ありがとうございます。

事務局 先ほど委員からもありました、月曜休館をなぜ一斉にしているのかということですが、平日は火曜日から金曜日まで本を配送で動かしています。予約の本などを受取の館に配送するという中で、月曜日を一斉に休むことによって同じタイミングで同じように配送し動かすことが出来るのです。これが休館日が違う曜日になってくると、配送を受ける事が出来ず止まってしまう館ができるという事もあり、できるだけ早くスムーズに本を届けていきたいということで同じ日にさせて

いただいています。また、もう一つなぜ月曜日なのかというところですが、府立図書館が月曜休館であり、府立図書館から本の受け渡しなどを考え月曜日という事で決めさせて頂いています。運営という部分と、委員からもありましたが実際利用者の立場になってのこと、今後について両方の面からやはり考えていきたいなと思っております。北部の市町についても月曜休館がほとんどですが、舞鶴は西舞鶴と東舞鶴あといくつかの分館もありますが、曜日を変えて開館していたはずです。

会 長 はい、ありがとうございます。

事務局 すいません、事務局ばかりしゃべったらあまり良くないんでしょうけれど、やはり今意見いただきましたように、予算の問題ですとか職員の問題っていうのはありますので、以前からなかなか変わっていかないという実情もあると思います。ただ、そうはいうものの、やはり以前からそういったご意見などいただく中で問題意識としては当然持っておりまして、特に月曜日、それが何曜日でも一斉に休みになるということは、その曜日にどうしても利用できないお仕事とかの関係とか何らかの関係で、その曜日に利用できない方がどうしても少なからず出てくるだろうと思いますので、やはりそういった方が利用できるように本来ならしていきたいなという風に思っておりますし、それが先ほども最初に申しました、少しずれてしましますが4年度に何ができるか、そういうことを協議したりして少しでも前に進められるように取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、今日の協議会のみならず、また何かお気づきの点ですとか、あるいはこうしたらこんなことができないかというご意見などあれば、聞かせていただけたらなというふうに思っております

会 長 他、委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 アンケートですけども、今の来館者の方は月曜日じゃない時に来られている来館者の方なので、そこにアンケートをとっても月曜に来られない方の意見が聞けないので、もしアンケートをされるのであれば、広く意見もとめたらいいかなと思います。それから、その月曜日に開館をした方が良い理由ですけども、本が借りられないというだけの理由でしたら、いろんな工夫がもしかしたらできるのかなと思いますし、図書館という施設、いつでも行けて誰でも行けて、いつまでも居ることができて本が読めて、みたいなどころが必要だよということ、であれば、図書館以外でもそれに近いようなところを作るというのも可能かなと思いました。舞鶴がその分けているっていうのは、市として先ほどの課題をどういう風に克服されているのかなっていうのと、先の議題になりますけど、明石の図書館

夜9時まで開館されていますし、2箇所視察に行かれた中で、同じような要望みたいなことがあったのかどうかということも、ちょっと気になるところです。

会 長 はい、ありがとうございます。他はいかがでしょうか。関連したご意見ご質問でも結構です。

多様な形で今委員からもありましたように、図書館に代わるような、そういう学習スペースとかということも一つの案だなと私は思ったんですけど、そういうことや、全部の図書館図書室について考えるというよりも、少なくともその月曜日の開館のこと図書館の峰山とあみので隔週にするとか、月曜日だけは午前中だけとか午後だけと開くとか何らかの形で、その予算の規模にもよると思うんですけども、考えていけないことはないかなと思うんですけど。

委 員 滋賀県の方とかも曜日を分けているところがあったと思うんです。兵庫県の方ももちろんあると思うので、人口規模とかも全然違うと思うんですけども、どんな風にして、どういうことで分けられていて、その周知をされているわけですから、もう当たり前になっているのかもしれないですが、その状況みたいなことも情報が得られたら判断するのにありがたいかなと思いました。

委 員 1日が毎月お休みですよ。私はあその他の委員の方々のように深くそこまで休館日月曜もぜったい開けたほうが良いという強い意見はなくて、利用者としては、月曜日が休みというのはもう覚えているんですが、1日が休みというのをよく忘れて行ったら休みだった、ああしまった、自分が忘れていたんだということはしばしばあります。そしたら、お掃除の方が、今日何人も来たよ、あなたで3人目だわみたいなこと言われたことが、たまたまだったかもしれませんが、1日の休館日というのを私すごくよく図書館利用しているんですけど、それでもよく忘れるんですね。それでやっと月曜日休館っていうのが覚えられてきたので、これを月曜日の午前があみので第何月曜日はどっちが開いているというのを、果たして利用される方が、この日図書館に行こうと思ってスケジュールに入れてわざわざ行くかなと、私はそういう風に利用してなくて、どうしても返却日があればこの返却日にとカレンダーにつけたりして忘れないようにしていますけれども、でもふらっと行きたいところなんですね私にとっては。ふらっと行った時に休みでがっかりするのは確かにありますけれども、いろんな変更をされるとふらっと行けない、何て言うか、私は覚えられないので、確かにどこかが開いているというのはありがたいことではありますけれども、どこかを開けるために予定が変わって、いつも開いているつもりの所が開いていなかったという残念さもあるかなと、一つ思いました。あと、税金ですよ、職員さんのお給料も予算が限られていて、京丹後市の限られた税金の中から賄われていると思いますので、それは長い時間開いていけば絶対いいに決まっていますけれども、限られたお金の中で人

件費に使うのか 蔵書に使うのか、予算の出所が一緒かどうか分かりませんが、京丹後市の税金であることは同じですよ、そのあたりで果たして開館時間を増やせばいいのか、それとも蔵書にもっと回せばいいのかというところも、併せてお考えいただければなと思いました。

会 長 はい、ありがとうございます。他、委員の皆さんいかがでしょうか。これをということで決める席ではありませんので、いろいろな意見を出していただいて、また事務局の方でもご検討いただく、という形でむかってもらったらと思います。そうでしたら、先ほどの休館日についての中にも開館時間も同じように関連をしてくると思います。今委員の方からもありましたように、その分を蔵書にというご意見もこれもごもっともだと私自身も思います。その辺で他地域の状況も調べていただいたりして、また何らかの形で利用される方の希望とかというあたりも調べたり、課題ということにさせてもらい、検討お願いできますでしょうか。では、委員のみなさん、この件につきましては以上で閉じさせてもらってもよろしいですか。

 はい、それでは先へ進めさせていただきます。(2) 子どもの読書活動についてということで、それでは事務局お願い致します。

【(2) 子どもの読書活動について 資料2の説明】

会 長 はい、ありがとうございました。ただいま説明をしていただきました、子どもの読書活動についてということで、家庭・学校・地域等における状況について説明をしていただきました。委員のみなさんでご意見とかご質問とかございましたらお願いをいたしたいと思います。いかがでしょうか。

委 員 はい、公民館活動でボランティアの方に来ていただいたりしているわけですが、私も子育て支援のサロンを開いているんですが、コロナになってから来ていただけないしサロンもコロナで開いてないので、今年もなんとかやってみようと思って役員たちがなんとかやってみたのですが、緊急事態宣言が出て蔓延防止措置でちょっとやめておこうとか、赤ちゃんを抱えているお母さんたちもとても怖いんです、見えない敵はどこにいるという感じなんですけど、仕方なくやめておこうかなと、3月には毎年図書館から職員さんを派遣していただいて、とてもうっとりとするような読み聞かせをしていただくんです。お母さんが読むのはいいのだけど、こういうのもいいよねなんて言ってくれるので、そのときあった意見を伝えたり図書館に報告したりして喜んでいるんですけども、早くまたそういう機会が来ないかなと思って、今日、今読んでいただいた文面を見ながら思っております。よろしく申し上げます。

会 長 ありがとうございます。他の委員の皆さんいかがでしょうか。

委 員 私、久美浜の図書室をよく利用しています。子どもの対応ですが、すごく的確に対応してくださっている職員さんがいます。例えば、読み聞かせなどで保育所の時から顔の繋がりがあって、その子どもの声をちゃんと聞いて、こういう本がありますよとか、こういう本はないかと聞くと、的確にどこにあるというところまで教えてくれる人と、なかなかそこになかったらないんでしょうぐらいなレベルの差があるんですが、よくやってもらっていると全体としては思います。いろいろスタンプなどをし工夫もされていますし、プレゼントがあってそれが励みになっているということもあります。しかし、やっぱりレベルアップといいますか、日頃の研修などで高めていってもらったら嬉しいなと思います。それから、子どもたちへの対応で久美浜では自治会の方で山作りしています。環境学習、水源の森づくりで、今年の4年生は私が担当しています。下刈りとか作業そのものは今年出来なかったんですけども、見てなぜ水源の森づくりをやっているのかとか、そういった山のこととかいろいろ事前に先生との打ち合わせをしていると、その日の質問を色々用意してくれるんですね。その質問の内容がなかなか鋭くてね、その質問はどこで考えたと聞くと本を読みましたとか、図書館でそういう本を前もって関心があり読んだ上で来ている子が何人かいるんです。やっぱり大人側とか地域側で子どもたちにそういう機会を、ただ読め読めだけでなく体験を通して関心を持たせることが必要です。実際山へ行ってみたらどنگりでも実がなっているものや葉っぱがいろいろ違うものがあるとかいろいろあるんです。その子どもがまた調べに来て、山の方もね。やっぱりやり取りの中で返して行くとか、自分自身が勉強しようという風な仕向け方がとても大事だと思うので、これは親とか地域とかが考えていけない問題だと思いますけども、これを全体のそういう事が、具体的に地域の人も考えて行くような情勢といいますか、やっぱりそれをやることによってこんな効果があるとか、そういうような実際の教育方法なのか分かりませんがそういう持って行き方も大事だという風に思いましたのでよろしく願います。ご検討いただいたら、ありがたいという風に思います。大変感謝しています、頑張ってもらっていると思っています。

委 員 読み聞かせボランティアをしまして、本当にコロナ禍でなかなかその実施できなかった時もたくさんあって、今までやっていた中でもいつも公民館の事業として第2土曜の2時ぐらいから地域での読み聞かせの活動しているんですけども、集まってくる子どもたちが少ないんです。前は小学校の子どもたちも結構来ていたんです親御さんも一緒に。でも最近は小さい子どもを連れてお母さんが1、2組で、ほんとに少なくなっていて、子どもたちの実態を見てみると、習い事をしている子が土曜日なんかは結構いて、なかなか忙しいでと行って来てくれない実

態もあって、読み聞かせボランティアのメンバーが集まった時、いったいどうしようかなと子どもたちがいない中でも色々準備するんですよ。今日はこんな本を読んでやろうか、こんな工作をしようかとか色々と考えていつているんですけども、実際はなかなか集まって来ないというような実態がありまして、だからボランティアのメンバーが集まって、じゃあ子どもが居るところに行こうとか、色々今検討しているような状況もあり、小学校の放課後に子どもたちがいるところに行って読んだ方がいいのか、それとも放課後児童クラブのようなところに行かせていただいて、本当に子どもたちが居る所に行かないと何かこう張り合いがないなというような、そんなところもあり色々今ちょっと悩んでいると言うようなところもあります。本当にコロナ禍ということもあったと思うんですけども、今の子どもたちの実態は忙しいのかなと思い、これを見ても中学校が本当に忙しいのか全く読まないという子どもたちも多いなと思ってびっくりしました。

委員 学校現場の中学校代表で発言させていただきます。内容はもうこの3ページで報告してもらったことがほぼその通りなんですけども、まず朝読書で落ち着いた読書活動は維持できているので、本は読んではいます。ただそれを図書室の利用だとか、新しい本の出会いへどう導いていくのかということと、タブレットが導入されて授業形態が大きく変わるといふところの狭間で、今学校現場は模索している段階です。このデータで本校は全校100名程度なので、6つの中学校でも規模によって色々違うと思うんですけど、ここにありますように図書委員会の活動とか非常に活発であることと、新しい本を図書室の前に貼りだすんです、こんなのが入りましたというように、学校の規模は小さいので1、2年生が全部図書室と同じフロアにあるんです。だから学校生活自体が図書室の前を通らないと美術室や音楽室に移動できないということで、興味を引く活動はよくやっているんですが、国語科の先生が言うには、やっぱりいろんなタブレット操作などでやっぱり活字から離れていくので、辞書を引かせるのも辞典を引かせるというのもこだわっているんだというような方もおられます。新しい本を学校に寄贈して下さる方も結構あるので、本を整理して図書の入替えとかもどんどんするんですけど、それも国語科の教師がやっているんで、やっぱり子どもが図書室で出会うといったら中学校のスケジュールでは昼休みしかないんです。その昼休みに確実に図書のアドバイスが出来る大人の教員が配置できるということが来年度の課題だなということを考えてるので、図書のボランティアの方とかを呼んでということを考えてはおります。ただハードの面で、中学校の場合は図書室がとても狭いんです。今コンピューター室が今後空き教室に今後なっていくことが考えられるので、コンピューター室を図書室にすると調べ学習だとか、たくさんの工夫ができると思うんですが、悩みの種がコンピューター室の部屋は3階のどんつきになるので、日常の活動の中に遠い場所になってしまうんです。でも例えば網野中学校とか大宮中学校とか大きな学校はもう子どもの動線の中になかなか図書室がない場合も

あると思うので、その場合は多分図書室まで行く誘導が大事だろうと思うんです。だから、うちはそういう動線としては身近なものだけでも部屋自体が狭いので何を優先したらいいのかなというところが課題になっています。ですから、本の千本釣りとかといって本を袋の中に入れて、その袋の中にある本がこんな本だったという、自分で選んだ本じゃないけどまあ自分が引いたってことでの出会いとかそういう工夫はしているのですが、この資料にありますように借りてまで読むというのは少なく、今日ここに来る前に担当に聞いてきたら、中学校でも生徒の偏りがあってよく借りてよく読む生徒は数人だそうです。やっぱり借りるということはなかなかで、見て入ってこんな本もあるっていうのはあるんですけども、やっぱり自分の興味あるものを朝読書で読んでいるというのが実態です。本当に、タブレットで電子教科書といって教科書自体も今はもう本でなくて、どちらも良い所があるのでその両立が今の学校現場の特に中学生については課題だと思っています。以上です。

会 長 ありがとうございます。他の委員さんいかがでしょうか。

委 員 私は読書の方の係をしながら読み聞かせもなかなか行けずについて、ようやく今年、令和3年度からお邪魔しているんですけども、もう子どもたちを前にするとついつい声もだんだんと大きくなっていくような感じです。ただ、コロナでマスクをしていて表情が出せない、あああかなあと感じ、でもできるだけ本でも私が持っている中でもこれならいいかなというようものを持って行って見せたりして、集中するようには努力しているんですけど、本当にこのマスクというのは人間の顔の表情が全然出ないから残念だということと、今委員が言われたように、本当に地域の子どもたちが本を読もうかというよりもタブレットが出たためにそっちのものを一生懸命するんですよね。私ボランティアでそろばんの授業にちょっとお邪魔をしたんですけど、本当にパット点いたらもうそっちに目が行くんです。こちらの顔よりもそちらのほう为中心になって、ああひどいもんだなあと思ってしまいました。私が勤めていたときと全然違うと思って、ちょっと悲しかったんですけど、でも子どもといるとすごく元気になってね、またお邪魔しますよと言って笑っていたんですけど。本当に子どもを引き付けようとするといろんな小細工をしないといけない、これだけ文化が進むと流れが早くて、私みたいな者は流れに乗れないと日々反省しています。少し話題が違うかもしれないのですが、12月の広報誌の中に委員が掲載されていて、子ども支援の必要性ということの二つの課題で、子どもが天気が悪くても遊べる場所を作りたいなとか、図書館の中でいろんな方が来てコーヒーを飲んで過ごせるような、そんなことをしたいというような提案をしてくれているんですけども、それが本当に早く実現しない限り図書館だって計画はあるけどめっちゃめっちゃになるのでは、子ども支援の方もしな

ければいけないのにできずに、ただ地域でごちゃごちゃとしているだけで、もっと本当に前に進むような手立てを早く打たないと、すごくイライラしています。

会 長 ありがとうございます。他の委員のみなさんよろしいでしょうか。子ども読書活動についていろいろな視点から地域での読み聞かせや、また学校での取り組みとか実態とか出していただきました。またこういう実態を受けながら、より効果的な方法を考えていけたらと思います。今日のところは以上でこの項目は閉めさせていただきます、よろしいでしょうか。

次、(3) 先進地視察研修についてに入らせていただきます。

【(3) 先進地視察研修について 資料 3-1、3-2 の説明】

会 長 はい、ありがとうございます。それでは、私の感想を述べよということにして、私もこの視察の話を聞きまして、明石市は以前からちょっと興味があって、福祉ですとか幼児教育とか。市長さんは話題になった方で、一度退かれたんですがまた復活されて、その市長さんのやっぱり意識といいますか、これまでからの姿勢と言いますかね、そういうのを改めて感じました。そういうことが職員さんにもすごく浸透していて、その図書館や複合型のこの施設を作るのも、上の階がワンフロアは全部いわゆる市役所と同じ住民課など全部窓口がありまして、そこへ行けば全部事が足りるという形になっていますし、就学前のお子さんのキッズコーナーとか雨が降ったらそこに行けば楽しい時間が過ごせるという風な、そういう複合の施設の中のワンフロアがこの図書館になっているということで、図書館についても、それぞれの年齢の方のニーズに合わせたと言いますか、児童のところは部分的にキッズコーナーみたいなところがあって、大きな声を出してまだ遊んでもよろしいというそういうコーナー。センターにはラウンジという形でコーヒーカウンターがありましてね、ゆっくりできる。それから蔵書もずらっと並んでいて、そこでは静かに読書をすることができる、また調べものができるようなコーナーであるとか、そういういろんなパターンの人のニーズに合わせた対応が工夫されているようなことを特に思いました。本のまち明石ということで、やっぱり教養・感動・勇気・優しさっていうのがコンセプトになっていて、それは図書館のコンセプトではなくて市の施設全てが包括してそういうことで意識を持っていくという、そういうことを感じました。ですので、図書館とか図書室だけということではなく、全体の生涯学習とかそういうことを見据えて、行政が主体となって雰囲気と言いますか、意識を作っていくということは大事だということを感じました。一つの視点から読書活動なり図書の活動、文化の視点からまた発信をしていく事が大切であると言う事が、視察に行かせてもらった私のご紹介させていただく中身かなとも思いました。養父市の方は、公民館機能とホール機能と図書館機能と公園もあり市民の方が集まってきて、色々な文化に触れられるそ

ういう空間、場所を作っていく施設でした。そんななかで図書館は、蔵書は少ないですがこだわった部分の蔵書が充実している。地域から出た高名な方の蔵書の充実を意識してのことでした。よその図書館、どんなに大きな図書館にも負けないようにしていきたいと思っているということでした。そういう特色ある図書館を目指しておられました。ですからある人物のことを調べようと思えばもう養父の図書館に行けば全部調べられるというふうな、そういうワンポイントと言いますか、図書館にとってはすごく価値のある図書館といいですか、そんな感じを持たせていただきました。

副会長 明石の方ですけれども、図書館のあるフロアからの眺めが凄く良くて、もうそこに居るだけで幸せな気持ちになるような風景でした。下を見下ろしたら線路があって電車が通っているということで、本当にやっぱり図書館というのは昔はすごく静かな所に建てるということがあったんですけど、今はそうでなくて、生活の中に図書館を位置付けるという、その動線の中に図書館があるということはとても大事なことだなと思いました。先ほどの中学校の話聞かせてもらった時にやっぱり子どもたちが通るところにある、見るということはとても大事なことで、遠くの方まで出かけて行かんなんていうその一つだけでもハードルになるなあと思いましたので、いいなと思いました。市長さんが本のまち明石にしたいという、トップの思いが大事なんだなあととても思いました。トップがそう言わなかったらなかなかならないし、トップが言ったらなることもたくさんあるので、そういうトップがいて欲しいなと思いました。やっぱり図書館だけ独立してあるのではなくて、本当に市民の方が行き来するところ、それからやっぱり子どもちに本を読ませようと思ったらお母さんたちが行きやすい所、必ず行くところとかいうことで子育て支援の施設があるとか、子供とお母さんと一緒にお父さんと一緒に集まれるそういう場所であるとか、それからこれからは高齢者が多くなっていますので、高齢者が集うような場所がある所に図書館がある、そこを通って行ったら図書館がある、そこを通って行かないと、というところがとても大事になるのではないかなということを実感で見て参りました。養父市の方はとても素敵な施設でして、新しくホールも素晴らしくて、大勢の方が音楽を聴きに行ったり、本を借りたりするいい施設になっており、いいなと思いました。京丹後も中央図書館的な施設ができてほしいと思います、ぜひ複合施設としてみんなが行くところに、いい本に触れるところに施設があって欲しいなあと、それはもう絶対に昔とは変わってきているので絶対必要なことだなあという感じを受けました。

会長 ありがとうございます。報告という形でお伝えをさせていただきました。委員の皆さん方でご質問とかこの辺はどうだったということがありましたら、お出し頂いたらと思います。

委員 二つとも素敵な図書館だなと思って私も行ってみたいなと思ってお話を聞かせてもらいました。質問というわけではないんですが、素敵な図書館だっていうのはわかったんですが、視察に行ってもらったということはどこがどういう風に活かそうだったとか、これは京丹後市の図書館でも利用できそうだなとか、先ほどの休館日が1日だけでもその辺市民の方からは要望はないんですかとか、そういう行ってみてくるだけではなくて、そこら辺が視察の醍醐味かなと思っているので、もしそういうことがあれば活かそうだなとか、ここはヒントだったなっていうのがあれば教えていただきたいなっていうことと、それと先ほど委員から紹介していただいた市長に答申を出しているのは、子ども未来まちづくりの委員として市長に答申を出した時のものだと思うんですけど、この図書館協議会としても答申を出してしまして、そこに副会長がおっしゃったように、中央図書館っていうようなことも入っていたと思います。その答申の内容を今私も見ているんですが、峰山 大宮辺りに中央図書館的なものを造ったらどうだろうと答申が出ていると思います。それに対して、今都市拠点の会議が開かれていると思うんです、今日の協議会でもその様子が今どういう風になっているかみたいなことの報告とかがあるのかな と思ったんですけど特にはないようですけども、傍聴もできますので都市拠点の話が進んでおりまして、その中でも協議会からこういう答申が出ておりますみたいなことも意見が出ておりますので、是非成り行きを見守っていただきたいと思いますなと思っています。

委員 おっしゃる通りで、その中に今度見たような、絶対にいろんな複合施設で便利な中に図書館を建ててもらおうということはどうやったら伝わるんですか。今の経過聞きたいなと思って今日来たんですけど、その中に生涯学習課の方からも出るんですか。本当におっしゃる通りやっぱり視察でもあったように絶対変わっていないといけないので、それ聞かせて欲しいなと私自身も今思ってお話を聞かせてもらいました。

委員 今日、その他のところで言わせてもらおうかなと思っておったんですけども、どこでもいいので言わせていただいて、この協議会から私は文化芸術振興審議会の方に行かせてもらって先日で4回目が済みました。内容はこれまでどうだったかという4回目まではどんな街にしたいかとかそういうようなお話をせよという事でした、いろいろな業界から音楽の方も来られているし、それから府の方からもアドバイザーとして来られ、それから豊岡の大学出来ましたよね、そこからもアドバイザーで3人程来られているということで、そうそうたるメンバーの会合なんですけど、自分がどういう風な街にしたいかとか、文化を通してどうありたいかとかそういうような話ですごく話が広く大きくて難しいなあといつも思っているんです。図書館も複合施設でというようなお話もちょこちょこ出てきていて、その中で私も委員がおっしゃった記事を見まして、そうだよなあ

て思って話を進めておったんです。丹後は特に働き者の地域なので、本なんか読んでというような言葉もよく聞きました、昔も今もそうでしょうけれど。でもその中でも開館と同時に図書館やその複合施設を活用できる生活があって、朝から夕方までゆっくりできて、たまには芝生で寝転び、一日中いても誰も咎めることなくという生涯学習の場であるというような複合施設ができるのをワクワク楽しみにしている発表したんです。その私の思いをお話をしたんですけれど、その構成が文化センターなどができるとい話の中でどうなるのかなと思いつながら、ワクワクとドキドキと不安感と、そういう中で出席しているんですけれど、今おっしゃったようなお話はどういう風に進んでいるのか全然その会議の中ではわかりません。また違った会議があるんだと思うんですけど、とにかく文化に関することを話せということらしいので、でも文化といっても、生活も文化だし伝統芸能も文化だし、もう生活、丹後の人間の生活そのものが丹後の文化なので、伝統もそうですし色々含めていくとどこを引っ張ってきて、どこ集めてというようなこと難しいことだなあと思っておりました。それを皆さんがこういった意見を出しながら、自分の生活、活動場面から意見を出すということを今している最中でして、でもなかなか難しいことだなあと思って参加、出席させてもらっております。

事務局

少しお話をさせていただきます。視察に行つてですね、どういったところを見てきているのかとか、どういった形で情報を共有したり伝えたりしているのかということですが、今回の2か所の視察に行かせていただいたところの資料ですとか状況につきましては、先ほど委員からもありましたが、新たな都市拠点の検討会を行なっております事務局と打ち合わせをしまして、資料を見ながら、また例えば京丹後市に今度作るののであればこういったものが必要だとか、明石市にはこういう例えば先ほどもありましたが図書館の中にリラックスしてコーヒーを飲みながら本を読めるようなスペースがあるとか、そういったこともやっぱりあった方がいいんじゃないかとかいうことは担当課としての意見は言わせていただいて、それを都市拠点の事務局が一定整理をしまして会議の中でお示しをし、意見を聞く場があるというふうに考えております。実はですね先ほども今日その話が出るのではないかとということもおっしゃっていただいて、まさにですね事前にこの協議会を計画する前の段階で少し触れた方がいいのかなというふうに考えたんです、ただ来年度もこの検討会は続きまして、中間報告が出るということも聞いているんですが、あの検討会が今度3月30日にあり、この会議より後でしたのでそれを踏まえてからの方がいいのかなという風に思ひまして、実情を言いますとそういう経過があったということで、少し先になってしまうかもわかりませんが来年度のこの協議会中では進捗状況を報告させていただいて、また何らかのご意見等がいたけたらというふうに考えておりますので、ご承知おきいただけたらと思います。

教育長　　今言いましたように、新しい都市拠点というところは、まだ大枠の大枠のところの話し合いですので、だけでもその中でも答申をいただいたような所と図書館協議会の中で意見が出ているというところが重なってくることで説得力が上がってくるんだと思いますので、今日のお話のところについては確実に担当の方にも伝えさせていただいて、熱い思いがあるというところは確実に繋いでいきたいというふうに思っています。だけでも視察の件、私も行っておりました。明石の素晴らしい図書館、これ財政規模が全然違いますのでね、兵庫県の5番目ぐらいの都市ですので、素敵ではあるけれどもあれと同じものだっていうところの高望みはとても無理で、養父市は京丹后市よりも規模の小さいまちですけれども、素敵なこじんまりとしたというところで、間のとこなんじゃないかなという風に私は見ておりましたし、次長とも話しておりました。ただ、先ほどから出ているように、拠点として子どもたちや大人の方々、若者たちが集まった中にいろいろな施設があるというところについては、やはり外せないのではないかなというような認識でおりますので、それを繋いでいくためにも皆さんのご意見が図書館協議会から文化のまちづくりとかいろんなどころでの意見がクロスしてというか共通項として上がっていくことが説得力になるという風に思いますので、またよろしく願いしたいと思います。

委　員　　そうするとたくさんの方の知恵は出し合っていると思うんですけども、それがずっと先なのかある程度目安をもらわないと、市民にとっても私にとってもいつのことか、確かにいい話だけどという感じがします。やっぱり10年とか5年とか長期、短期全部考えて目標をはっきり出さないと、話は何だこれという結論が出ると思います。やっぱり早くちゃんとしてほしいと思います。令和8年か9年には出来るのですか、それは嬉しいですね。たくさん計画しなければならないことがあると思いますが、令和9年には出来ることはほぼ確定して欲しいですね。

会　長　　ありがとうございます。先ほども事務局からありましたように、次回の会議でも具体的な目当てがないと市の方も何もできないと思います、何らかの形のものがあるのではないかと思います。今9年という数字が出ましたけども、それは固定ではないでしょうけど、大体この養父市の計画を見ていまして、立案から竣工までは大体5年ですね。原案があってそれを計画して今度は具体的な建設計画を、今度は中の備品とかの流れでと説明いただき、なかなか大変なことだなと私も思っていたんですが、そういう風な伏線的協議があるということですけども、先ほども言っていたように、この協議会からはこの協議会の視点でご意見を色々とお出しいただいて、それをまた教育委員会の方でそれぞれの会議にリンクしていただく、そしてより良い方向に行くということが大切じゃないかなという風に思いますので、また貴重な意見をお世話になればと思います。

他によろしいですか。

それでは（４）新規事業の状況についてに入らせていただきたいと思います。説明をお願いします。

【（４）新規事業の状況について 資料４の説明】

会 長 ありがとうございます。新規事業の状況について説明をして頂きました。委員の皆さんいかがでしょうか。何かご質問とかご意見ありましたらお願いしたいと思います。

委 員 これは令和３年度に始まった新規事業ってということでしょうか。

事務局 実際には昨年度の３月からの事業も入っています。雑誌スポンサー制度と国会図書館のデジタル化資料送信サービスは３月から実施しています。

委 員 はい、ありがとうございます。以前私が年間の事業報告をしていただいた時に、何か新しいものを始めてもらわないと、毎年同じことやって毎年同じ報告を受けてという風な印象を受けるのでとお伝えしたのでこういう風にしていただいたのかなと思っています。それで、これが今の課題が例えば中学生ぐらいの子どもがそもそもが本を借りるという習慣がないというようなところが課題だと出ているのであれば、その課題に対応する何かというような、その課題と対応した新しいものが出てくるといいなという風に思いました。Wi-Fiはすごく良くて私も一度の使わせていただきました。申請しての利用と書いてありますけども、そんなに難しい申請でもありませんでしたし、とっても使いやすくてよかったので、最後で総括しておられるように周知がされればこれはもう少し使いやすくなるのかなと思っています。はい 以上です。

会 長 ありがとうございます。他の委員さんいかがでしょうか。

委 員 除菌機ですが、前回のこの協議会でお話を聞いて、利用させてもらってもう何回かなるんですが、安心して本を借りられることができますし、ちょっと面倒だなと思う方もあるかもしれないけど、さらに利用者が増えるようにお願いします。それから、私今年１月５日に正月明けてすぐに図書館に行かせていただきました。そしたら初めての体験ができました。図書館で並んで本を抱えて待つという。そんなことは初めてでして、いつも一人でお願いしずつて本を置くんですけど、それを抱えて待っていて周りを見まして、こんな風景いいなあと。買い物ではよく並ぶことはあるんですけど、本を借りたり返したりするのに並ぶなんていうこと初めてでして、これから新しい文化施設もできるというお話もありますし、

こういう景色が毎回見られるようになると京丹後市の文化のレベルも上がるなど思ったり、先ほどの明石市のは話のように教養も上がってくんじゃないかと思っておりました。

会 長 ありがとうございました。

委 員 ブックスタート事業が良かったと思います。一時無くなった時私はショックですね、予算がないのかな、そんなに貧しいのかなあという思いがすごくありました。やはり4ヶ月ぐらいから読み聞かせる、お腹にいる時から読み聞かせることが大事だと言われますので、是非ずっと末永くお願いします。

会 長 他いかがでしょうか。ないようでしたら、今日の協議の方はこれで終了させていただいて、たくさんのご意見いただきました。

事務局 ありがとうございました。事務局から2点お伝えさせて下さい。先ほどの件では色々と事業を行っておりますが、事務局としまして周知広報をしているというのはあるんですが、やはり一回二回では少ないと事務局としても感じております。実績が伴っていませんので、せつかく良いものに予算をつけてもらいましたので、皆様からいただいた意見をこうやって形にできていっております。やはり広報をもっともっとしなければと感じておりますので、今年度もそういうことは言っているのですが、更にもう何回でも何回でも同じことでもいいので、何回も出しすぎだと言われても出していこうという風にしておりますので、またの皆様もその広報 SNS とかご覧いただいて確認していただけたらなと思います。よろしくお願いします。それと、先ほど新たな都市拠点の話のところでもいつぐらいだということでスケジュール感の話が出ておりました。教育長からも令和9年ぐらいだったかなということでしたが、事務局の建築住宅課が出しております資料を見ますと、今後どうなるかは分かりませんが、一番最初に出している概算のイメージでは工事を令和9年度10年度で完成がうまくいけば令和11年度というような流れになっております。ご報告させていただきます。

● 閉 会

事務局 それでは長くなりましたが、閉会にあたりまして副会長からのご挨拶をいただけたらというふうに思います。よろしくお願いします。

副会長 長時間にわたりましてお疲れ様でした。ありがとうございました。今日は参加させていただきまして、その新たな都市拠点に対する希望がまたメラメラと自分

の中に湧いてきまして、色々な手立てで協議会の方からも本当に声を上げて、諦めずに本当にこうして欲しいということを伝えて行って欲しいと思います。今日は、こないだニュースを見ていたんですけど、神戸に「こどもの本の森」という施設がオープンするんですね。ここは建築家の安藤忠雄さんが設計されてその施設は寄付されるということで、ネットで見たらちょっとカーブしたような細かい感じの施設で、両脇に本があって素敵な図書館が今日オープンするみたいです。25,000冊を目指していて当初は18,000冊らしいんですけども、その本についてもまた寄付を募ったら、京丹後市が契約している図書館流通センターとか安藤忠雄さんの文化財団とか、そういう心ある団体とか企業とかが寄付されて、もうすでに21,000冊の本は準備できてるみたいです。もちろん館内でも本を読めるんですけども、外に公園みたいなものがあるところでも読めるという、素敵なあの空間になるみたいです。名誉館長さんが竹下景子さんだそうだし、結構神戸の中心地でわりと賑やかなところみたいですけど、そこに行こうと思ったら子どもの本ですので親が意識がないとそこには行けないわけです。でも人口規模が全く違うので、大勢行かれるのだとは思いますが、親の意識がないと子どもはその素敵な本、図書館にも触れることができないということがあつた、そこが本当に大きな壁だなと思いました。それで京丹後市を振り返ってみると、京丹後は6万人足らずの人口の中に、今6つもあって、でもまあなかなか子どもたちだけではいけないので、それも親の意識がないと本に接することができない子が多いんだなと改めて思うんですけども、でも6万人で6つもあつたという事はとっても素敵なことだなと、改めて思いました。でもそれで満足せずに、本当にその新たな都市拠点の中に、素敵な空間を持つ図書館が出来て欲しいなと、また改めて今日思いました。本当に子どもに子どもと言いますが、生涯学習の拠点だと思うので、是非図書館が実現できるように図書館協議会からも声を上げて行きたいなと改めて思いました。すいません、以上です。どうもお疲れ様でした。

ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。年度末の大変お忙しいなか、長時間ありがとうございました、お疲れ様でした。事務連絡的なことを伝えさせていただきます。このメンバーでと言いますか、任期としてこれがおそらく最後になると思います。5月5日までの任期ということになっております、2年間皆様ありがとうございました。また事務局から引き続きというご相談、お声かけをさせていただくことになろうかと思いますがまた改めてお声かけをさせていただきますので、どうぞ皆様宜しくお願ひします。以上です。

それでは、閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。